

元気いっぱい !!

 日本赤十字社医療センター附属乳児院
Home for Infants, Japanese Red Cross Medical Center



〒150-0012

東京都渋谷区広尾4丁目1番1号
Tel. 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311
<http://www.med.jrc.or.jp/nyuji-in/index.html>

理念

私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。
私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、親子関係の構築を支援します。



令和の春に寄せて

看護副部長 臼井

さわやかな風が心地よい季節となりました。今年度は「平成」から新元号「令和」に移ります。どんな時代になるのだろう、と多くの人が考えていることでしょう。

世界のどこかでは、常に戦争の中で生活している子どもたちがいます。平成の日本では戦争が起これませんでしたでしたが、子どもたちの SOS を見逃してしまい、悲しいことが起きています。令和の「令」には、辞書を引くと「善」という意味があります。子どもたちが「善」に包まれ、不安なくいっぱい笑い、泣き、自分の気持ちをいっぱい出せる環境を築いていきたいですね。

この春、当院ではお部屋替えがあり、子どもたちはドキドキしながらも、新しいお友だちや職員、お部屋に慣れつつあります。自分の名前を呼ばれて大きな声で「はい」と返事をしたり、スプーンで食事を食べたり、みんな大きく成長しています。お部屋の中に子どもたちの笑顔があふれ、笑い声が温かい日差しのように広がるよう、職員みんなで子どもたちとご家族を見守り、応援していきます。



ひなまつり会

保育士 若目田



玄関ロビーには今年もお雛様が飾られ、子どもたちの健やかな成長を見守っています。3月1日、ひなまつり会が行われました。保育者がお内裏様とお雛様、花の精やピエロになって登場すると「かわいい!」と言って目がハートになる子、見慣れない着物姿の担当者に目が点の子、「こわ〜い」と言ってびっくりする子もいました。踊りやペープサート、マジックやフィンガータップなどを見て、子どもたちも保育者も、とても楽しいひと時を過ごすことができました。



子どものスキンケア



看護師 成田

乳児院では健康管理の一環として、子どもたちのスキンケア（肌のお手入れ）を大切にしています。乳幼児の肌はおとなより薄く、皮脂を分泌する機能も未熟なため、すぐにカサカサしたり赤みが出ます。いろいろな刺激から肌を守るためには、日々のお手入れが重要で、基本は清潔と保湿です。

毎日の入浴では、泡のソープで優しくなで洗いをしています。保湿は医師の指示に従って、子どもの体質に合わせたローションや軟膏でお手入れをしています。ご面会の際にお気づきの点は、いつでも職員にご相談ください。



音楽療法の紹介

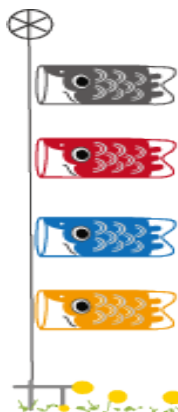
保育士 松尾

こあら室で2ヶ月に一度、音楽療法を行っています。音楽療法とは、音楽療法の研修を受けた者が、音楽の持つ力で対象者の心身の健康や生活の質の向上を目指し、音楽を意図的、計画的に使うものです。医療福祉の現場で使用されることが多いですが、全ての人を対象となります。日本では知名度が低いですが、欧米では活動が盛んで、生の音楽（楽器や歌）で対象者のその瞬間に寄り添いケアしていきます。今後、乳児院での楽しい活動の様子をご紹介していきたいと思っています。



ボランティアさんの紹介コーナー

今回は絵本ボランティア「ソント」の皆さんを紹介します。「ソント」の皆さんは、子どもたちの年齢にピッタリの絵本を選んで、各保育室で読み聞かせをしてくださいます。絵本が大好きなNちゃんは、初めてのお話に目を丸くして見入っています。Tちゃんはお気に入りの『おおきくなった!』をリクエスト。にんじんや魚やおばけが大きくなるページに歓声を上げています。ソントさんに感謝しつつ、職員も水曜日に出会える絵本を子どもたちと一緒に楽しみにしています。



編集後記

平成最後のお花見も、乳児院の元気いっぱい子どもたちと楽しむことができました。平成から令和に元号も変わります。さあ、心機一転！子どもたちやご家族に寄り添い、子どもたちの健やかな成長のため、職員一同が協力して頑張ります。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

